

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	信越ポリマー株式会社					
代表者名	氏名	小野 義昭	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	東京都千代田区神田須田町1-9 相鉄神田須田町ビル6～7階					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	28 電子部品・デバイス・電子回路製造業				
主たる事業の概要	シリコン加工品の製造					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kl	1665	1640	1634	1605	1475
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	3430	3378	3364	3309	3040
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	0
自動車の台数	台	6		6	6	6
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	7				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	平成 28 年度
------	----------

計画期間	平成 29 年度～ 平成 31 年度
------	--------------------

報告対象年度	平成 31 年度
--------	----------

3 計画書（報告書）の公表方法等

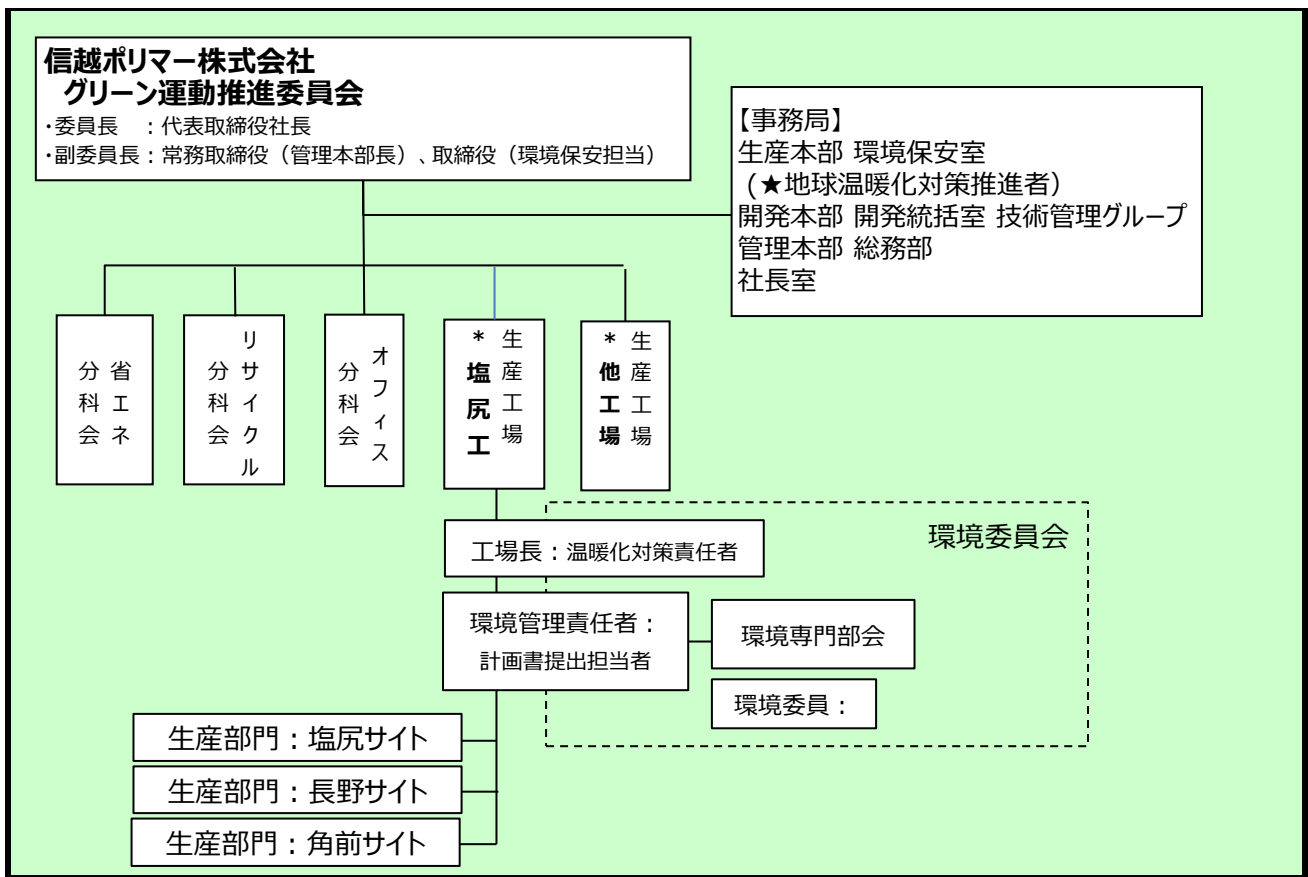
<input type="checkbox"/>	ホームページ	信越ポリマー（株）塩尻工場 担当部署：環境保安担当 連絡先：塩尻市大字広丘堅石2146-5 電話：0263-54-1010 閲覧可能時間帯（連絡可能時間帯）：8:30～17:15
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

【基本理念】
信越ポリマーグループは、地球環境保全を経営の最重要課題の一つと認識し、その求められている社会的責務を果たすことにより、持続可能な発展をめざした循環型経済社会の構築に積極的に参画します。

【行動方針】 (以下抜粋)
・環境保全活動を効果的・継続的に推進するための組織・体制を整備します。
・省資源、省エネルギー、廃棄物削減、リサイクル、環境汚染物質の適正管理について、関係する法規制等を遵守すると共に、技術的、経済的に可能な範囲で、より高い目標を定め、環境保全の目的とするところを達成します。
・新製品開発の段階から、調達・生産・使用及び廃棄に至る各段階での環境影響を評価し、環境負荷の低減に努めます。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

- ・環境委員会：月1回開催
- ・環境専門部会：年4回開催

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	3,430	t-CO ₂	生産数量	314.70	単位	t	
28年度	調整後排出量	3,403	t-CO ₂	基準原単位	10.90	t-CO ₂ /	t	
目標年度	目標排出量	3,378	t-CO ₂	目標原単位	10.74	t-CO ₂ /	t	寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
31年度	目標削減率	1.51	%	目標削減率	1.50	%		
目標設定に関する説明	信越ポリマーグリーン運動及び環境マネジメントシステムISO14001に準じた活動を行い、基準排出量3,430t-CO ₂ に対し、年平均0.5%削減目標とし排出量の低減を図る。							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	3,364	t-CO ₂	生産数量	315.91	単位	t	
	調整後排出量	3,332	t-CO ₂	原単位	10.65	t-CO ₂ /	t	寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
29年度	削減率	1.92	%	削減率	2.29	%		
排出量等の増減理由	空調に関連した化石燃料を全廃した。 LED照明化を随時実施して電力使用の削減を行った。							
第二年度	排出量	3,309	t-CO ₂	生産数量	343.83	単位	t	
	調整後排出量	3,284	t-CO ₂	原単位	9.62	t-CO ₂ /	t	寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
30年度	削減率	3.52	%	削減率	11.74	%		
排出量等の増減理由	LED照明化を随時実施して電力使用の削減を行った。 空調機器の更新を実施して電力使用の削減を行った。 コンプレッサーの更新を実施して電力使用の削減を行った。							
第三年度	排出量	3,040	t-CO ₂	生産数量	304.37	単位	t	
	調整後排出量	3,011	t-CO ₂	原単位	9.99	t-CO ₂ /	t	寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
31年度	削減率	11.37	%	削減率	8.34	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	LED照明化を随時実施して電力使用の削減を行った。							

様式1号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	7	t-CO ₂			
年度						
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		状況	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	330201 空調設備の温度管理	29~31	5	29	1
2	エネ起	330208 空調設備の保全管理	30	20		
3	エネ起	360703 コンプレッサの運転管理	29	10	30	28
4	エネ起	380752 LED照明へ更新	29~31	40	29	20
5						
6						
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	27		32	25	29
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	3	3,430	3	3,364	3	3,309	3	3,040
合計	3	3,430	3	3,364	3	3,309	3	3,040

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数、導入計画及び実績 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)	3	3	3	3
合計	3	3	3	3
自動車総数	6	6	6	6
次世代車導入割合	50	50	50	50

様式1号
(総括票)

1.4 中小企業支援状況

区分	内容
中小企業への省エネ診断	特になし
その他	

1.5 交通対策状況

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	マイカー通勤率：92%
公共交通機関の利用促進	特になし
来客者の交通対策	特になし
物流の合理化	特になし

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	ISO14001	1999年
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 空調に関連した化石燃料を全廃した。 廃棄物排出量の削減を年間計画で実行している。
第一年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物排出量の削減 環境配慮した製品開発
第二年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物排出量の削減 環境配慮した製品開発 トイレを節水タイプに変更し上水道量削減
第三年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物排出量の削減 環境配慮した製品開発 トイレを節水タイプに変更し上水道量削減

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量 (tCO ₂)
基準年度以前の取組み	H26年塩尻工場・事務棟技術棟空調設備更新 灯油廃止 H27年塩尻工場・第2棟空調設備更新 A重油廃止 H28年塩尻工場・第4棟空調設備更新 灯油廃止	142.9
その他		